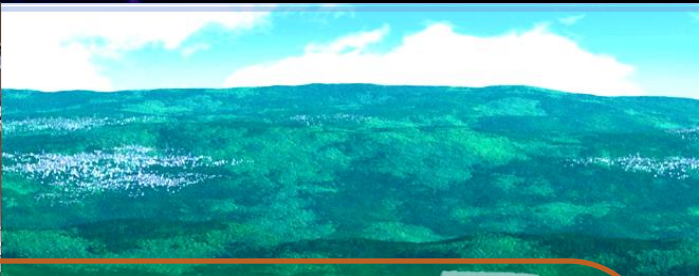



市民講演会 物質に質量を与える「ヒッグス粒子」の発見と 宇宙創成の謎に迫る「国際リニアコライダー(ILC)」計画

主催 東北ILC推進協議会

共催 東北大学ILC推進会議

後援 岩手県、宮城県、仙台市、社団法人東北経済連合会、岩手県国際リニアコライダー推進協議会



人類は、宇宙の成り立ちについて考え、宇宙を観測し、宇宙へ行き、そして「加速器」により宇宙の初期状態を再現することにより、宇宙創成・進化の謎の解明に挑んでいます。日本は、いずれの分野でも世界最先端の科学技術を駆使して研究・実験を推進し、最先端の研究と社会の発展に貢献しています。この度のヒッグス粒子の発見は、素粒子物理の研究を大きく前進させる契機となるものです。この講演会では、ヒッグス粒子が「神の粒子」と例えられる特別な存在である所以を判り易く解説していただき、そのヒッグス粒子の詳細な研究が可能となる国際リニアコライダー(ILC)計画について解説していただきます。いま、世界中から注目されている素粒子とその謎を解き明かすILCの概要について聴講することができます。

日時＝平成24年10月21日(日) 13:30～16:00(13:00開場)

会場＝東北大学マルチメディアホール (川内郵便局向かい)
仙台市青葉区川内41

定員 350名 (入場無料:参加される方は、申し込み下さい)

プログラム

1 開会

2 主催者挨拶

3 講演

『宇宙の真空をびっしり満たすヒッグス粒子』

東京大学数物連携宇宙研究機構長 村山 斉

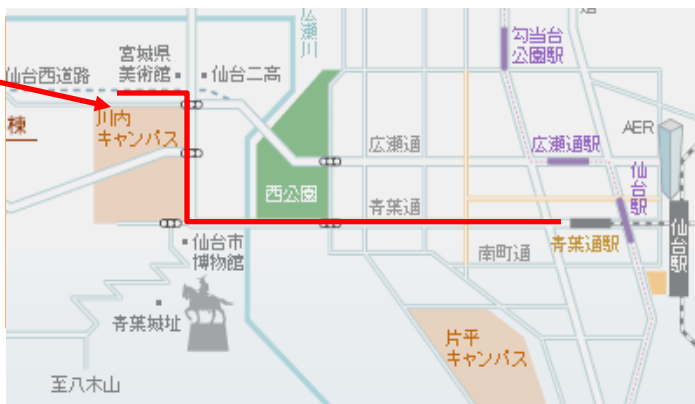
『国際リニアコライダー計画(ILC)

～新時代をリードし宇宙創成の謎に迫る～』

東北大学大学院理学研究科 教授 山本 均

4 閉会

会場



講師プロフィール

東京大学数物連携宇宙研究機構 機構長 村山 斉

1986年 東京大学理学部物理学卒業
1991年 東京大学大学院理学研究科修了（理学博士）
1991年 東北大学助手
1993年 ローレンス・バークレイ国立研究所研究員
1995年 カリフォルニア大学バークレイ校助教授
2000年 カリフォルニア大学バークレイ校教授
2002年 西宮湯川記念賞受賞
2003年 Fellow of American Physical Society
2004年 カリフォルニア大学バークレイ校MacAdams冠教授
2007年 東京大学国際高等研究所数物連携宇宙研究機構長（現職）



東北大学大学院理学研究科 教授 山本 均

1978年 京都大学理学部卒業
1985年 カリフォルニア工科大学大学院卒業
1986年 スタンフォード線形加速器センター研究員
1986年 シカゴ大学エンリコ・フェルミ研究所研究員
1989年 同 助手
1991年 ハーバード大学助教授
1993年 同 准教授
1998年 ハワイ大学教授
2001年 東北大学大学院理学研究科教授（現職）



申し込み方法 FAXもしくはe-mailでお申し込みください。

①氏名、②会社名[学校名/学年]、③住所(市町村まで)を記載し、FAXもしくはe-mailのいずれかの方法で申し込んでください

申込み先

東北ILC推進協議会((社)東北経済連合会内)

TEL022-799-2103 FAX022-262-7055 E-mail t-arihara@tokeiren.or.jp

	氏名	会社名(学校名/学年)	住所(市・町・村)	備考
1				
2				
3				
4				
5				

お預かりした個人情報は講演会の運営にかかる事務のみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

FAX(東経連)022-262-7055

送信方向